

## 《教育目標》 自律・友愛・創造

### 「自らを律し、なかまを大切に、創造性豊かな人」

自らを鍛え、責任ある行動をとり、互いの立場を認め合い、ともに支え合い、高まりあう「なかまづくり」ができ、自らの「夢の実現」に向けて、何事にもチャレンジする創造性豊かな生徒の育成を目指す。

本校のHP…<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=201407>

## 校内の剪定作業

12月5日（月）

に全教職員で校内の剪定作業と校門を入ったところの電飾の設置も行いました。



平成28年12月22日発行

文責 宮田 功

1月の  
行事予定

## トリ年について

2017年（平成29年）の干支は、酉年です。酉は鳥ですが、実際には「にわとり」のこと意味するようです。年賀状にもたくさんの鳥が描かれていると思いますが、にわとり以外の鳥が描かれていることはありませんか。十二支の「酉（とり）」は「鶏（にわとり）」が正しいので、知っておいてくださいね。

さて、鶏は、明け方に鳴く鳥です。夜が明けたら「コケコッコー」というのは、テレビなどでもよく見かけますね。新年も一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされています。さらに商売関係に縁起のよい干支ともされています。「とり→とりこむ」で、商売に繋がるとされています。行動力があり積極的とか、親切で世話好きであるという意味もあるようです。ところで「酉」という漢字は普段は見慣れません。なぜ、いつも使っている「鳥・鶏」ではなく「酉」なのでしょう。

干支の十二支は、12のすべてが動物で表されています。お正月に飾る置物も動物で1年間飾られることもあります。このように干支が動物であることは、かなり定着しています。しかし、動物での表し方は「後付け」ということを知っていますか。十二支は中国で生まれ、十干という10の要素と組み合わせることで、年月や時間、方角を示す役割を担っています。そもそも始めは、十二支と動物は全く関係ないものでした。実は、世間に広く認知させる目的で動物が割り当てられました。十二支の動物は、覚えやすくするための工夫なのです。確かに現在では、十二支の動物はかなり人

《裏に続きます》

日	曜	行 事 等
1	日	元旦
2	月	振替休日
3	火	学校閉鎖日（12月29日～）
4	水	
5	木	冬季休業終了
6	金	第Ⅲ期開始 全校集会 避難訓練
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	給食×切 ミラスト 17:30～（「ミ」）
11	水	美化点検（～13日）
12	木	私学願書提出 職員会議 「ミ」
13	金	
14	土	
15	日	光徳冬まつり
16	月	5限研究授業 部活再登校 14:30～
17	火	「ミ」
18	水	
19	木	評議専門委員会 「ミ」
20	金	
21	土	3年土曜学習会
22	日	
23	月	3年第五回定期テスト（～25日）
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	放課後 3年面接練習①
28	土	
29	日	
30	月	放課後 3年面接練習②
31	火	2年4.5.6限確認プロ



## 2月の予定

2日…5組「小さな巨匠展」見学 10～12日…私立高校入試 14日…伝統文化教育研究発表会  
16日…公立前期選抜（～17日）・1年百人一首大会 17日…2年百人一首大会 22～24月…1.2年第五回定期テスト

に浸透しています。もともと十二支は、「子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥」と表す農業用語であって、1年の12ヶ月の果実の成長過程を表していました。十二支の十番目が「酉」で、1年では10月にあたります。酉である10月の時期は、果物がどんな状態になるのでしょうか。この時期は、果実が極限まで熟した状態となります。「酉」という漢字は酒つぼを描いたもので、「酒」に関する字に使われています。収穫した作物から酒を抽出するという意味や、収穫できる状態であることから「実る」ということも表します。そのことから、果実が成熟した状態を表しているとされました。

この「酉」に、「にわとり」の名前を付けてはいますが、「酉」と「にわとり」とは、本来はどうも無関係のようです。ただ、「後付け」でも無関係であっても現代は、「酉」は「にわとり」として定着しています。

### ★ 酉年にちなんで、故事成語「木鶏に似たり」について 【鶏に関する中国の古典を紹介します。】

中国の「莊子」という本の中に「木鶏」という有名な話があります。昔、紀子省という闘鶏を育てる名人がいました。この名人が、王様の持っている一羽の闘鶏を鍛えあげていきました。（「闘鶏」とは、雄鶏を闘わせる競技です。古代中国、インド、ペルシア、ギリシアで流行し、賭けの対象となり、世界各地で行われるようになりました。）

元来、王様はせっかちなものです。王様が10日ほどたって、「どうだ、もう闘わせてもいいか」とたずねてきました。彼は、『いや、まだです。今は、カラ元気で威張っているところです。』と返答しました。もう10日ほどして、「どうだもういいか」と王様に聞かれても、彼は、『いや、まだです。他の鶏の声を聞いたり、姿を見たりすると、すぐに飛びかかろうとします。』といいました。さらに10日たって、『まだいけません。相手を見るとにらみつけて怒り立つ様子がありますから話になりません』さらに10日たって、また王様がたずねました。すると、『もうよろしいでしょう。敵の鶏が鳴いても、態度を変えません。遠くから見ると、まるで木彫りの鶏のようです。その徳は充実して保たれております。こうなっては他の鶏は戦うこともできず、逃げ帰ってしまいます。』その後、実際に闘わせてみると、彼の鍛えた闘鶏を見るだけで、ほかの闘鶏は闘わずして逃げてしまいます。

この寓話には、4つの教訓があると言われています。その一つは『「競わず」という事で、むやみによけいな競争心をかりたてない』ことです。二番目は、『「てらわす」と言うことで、自分を自分以上に見せない。虚勢はダメ』ということ。三番目は、『「瞳を動かさず」絶えずあたりを気にしてキョロキョロ見回さない。落ち着きが大切。』ということです。四番目が、『「木彫りの鶏のように、静かに自己を見つめることの大切さ」を知らせるものだそうです。』

現在の「木鶏に似たり」は、①敵意を持たない人に対しては、これに反抗する者はない。②真に強い者は、敵に対して少しも動じないものだということ。このような意味で使われています。

### 新人戦の結果（卓球部）

11月6日（日）1年生大会  
団体Bブロック予選  
男子2位通過・女子予選敗退  
11月13日（日）新人戦団体  
Bブロック予選  
男子予選敗退・女子1位通過  
11月27日（日）新人戦全市大会  
1年生大会男子団体3位  
女子団体5位

### 新撰組探訪

12月3日（土）に、学校運営協議会の皆さんが、地域にある新撰組ゆかりの史跡を案内して下さいました。希望者のみの参加ですが、生徒とともに保護者の方も参加いただきました。



### P T A フェスティバル

12月10日（土）に開催されましたが、本校のP T A壁新聞が、昨年度に続いて優秀賞に選ばれました。（ご協力いただいた方のご努力が、認められました。）



### 茶道体験

12月6日（火）の放課後、家庭科部で茶道体験が実施されました。地域に住まわれる西村葉子様のご協力で、いい経験ができました。



### 小六の中学体験、オープンスクール

12月8日（木）に朱雀第三小学校と光徳小学校の6年生が本校に来てくれました。次年度の入学に備えて、中学校を体験するためです。生徒会から、中学校生活についての説明を受けたあと、各生徒の希望した教科を受け、そのあとに、部活見学と体験を行いました。



### 平成28年度 中学生の「税についての作文」

本校から3名が表彰されました。  
京都府納税貯蓄組合総連合会会長賞…古川はるさん  
中京納税貯蓄組合連合会会長賞…堺あかりさん  
中京納税協会会長賞…桶本胡桃さん

### 絞り染め体験

12月13日（火）に伝統文化教育として1年生で実施しました。

